

わらアート  
JAPAN

NPO法人わらアートJAPAN

東京都千代田区麹町 3-5

麹町シルクビル 8F 〒102-0083

E-mail: waraartinfo@waraartjapan.com

www.facebook.com/waraartjapan/

www.waraartjapan.com/



# わらアート JAPAN の地 域 軌 跡

2016-18



わらアート  
JAPAN

The journey of community  
invigoration with straw  
2016 to 2018

## 協働と連帯

特定非営利法人わらアート JAPAN は、わら文化の伝承とわらの活用、新たな地域コミュニティの活性化に向けて、日本各地で「わらアート」を作っています。材料は主にわら・竹・木材を用い、日本に古くからあるわら編みの文化「とばあみ」を伝承した技術により作られます。大きさは、標準で高さ約4メートル、長さ約6メートル。制作期間は1体約2週間ほどです。この制作活動は、人々と「協働」しながら、地域や世代を超え新たな「連帯」を生み出します。2016年設立から2年間、全国で数十体の作品を作ってきました。これからも日本のみならず多くの地域へこの活動を広げていきます。



【宮城県岩沼市】 2016年5月

岩沼市は宮城県南東部の太平洋に面し西側は丘陵地帯で東側は平坦な平野です。「千年希望の丘全体構想」は、2011年東日本大震災の津波で被災した岩沼市沿岸部に丘をつくり、それをつなぐ園路に30万本の樹木を植えて森をつくる計画です。津波の威力を減衰させる役割のほかに、いざという時の緊急避難場所になります。

2016年の春、この丘で「千年希望の丘植樹祭 2016」が開催されました。植樹で用いられた藪わらを使って会場を盛り上げる祭のシンボル、森を守るゴリラ(モリラ)を作りました。



わらアート  
JAPAN

鎮守の森のプロジェクトに参加  
宮城県岩沼市

## わらアートとは

わらアートは、2006年11月、新潟市岩室温泉地域で作られたコシヒカリの「稲わら」を材料に、わらの大型造形物を作ることに始まります。

2009年には、新潟市西蒲区上堰潟会場に6体の作品が展示され2日間で約2万人が訪れました。

2010年、第1回瀬戸内国際芸術祭が開催され、小豆島の肥土山地区の棚田で3体の作品が作られ、普段は観光客の訪れることの少ない場所に多くの見学者が訪れ、地元農家の制作者たちにも喜ばれました。

2012年、新潟県の越後妻有大地の芸術祭では、地元農家の積極的な協力によって、より大型の作品が作られ注目を集めました。また、熊本県阿蘇地域では阿蘇山に自生している「茅」を使って、地区ごとに協働した5体の作品が作られました。

2015年、北海道東部の十勝において、初めて「麦わら」を使った作品が作られました。「稲わら」を使用することはもとより、制作の工夫と「茅」や「麦わら」などの素材を加え、益々多くの地域に広がりを見せています。

2016年、わらアートは、特定非営利法人アート JAPAN を設立いたしました。日本各地の様々な生物資源を材料とした造形活動、地域産物の商品開発とデザイン、観光事業としての総合的な活動、海外への展開など、さらに多くの地域の活性化に貢献いたします。



【新潟県十日町市】 2018年7月

十日町市は、新潟県の南部中越地方に位置します。大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレは、過疎高齢化の進む日本有数の豪雪地・越後妻有を舞台に、2000年から3年に1度開催されている世界最大級の国際芸術祭です。農業を通して大地とかがわってきた里山の暮らしが今も豊かに残っている地域です。この里山を巡る旅は、アートによる地域づくりの先進事例として、国内外から注目を集めています。里山アートどうぶつ園は、ここで出合える動物、伝説や伝承に登場する不思議な動物、絶滅してしまった動物などをモチーフにナカゴグリーンパーク芝生広場に作品を展示する展覧会です。

わらアートは、この企画展に参加し「牛の親子」を作り展示しました。

## 創生と協働

地域を元気にすることは、わらアートの大切な主題です。

制作活動を通して、地域の魅力を再発見、地域の紹介、展示における創生など、これらの達成に大きな効果を生み出します。

大きな造形物の制作には、多くの人が携わります。農家、大工、企業、自治体、主婦、高齢者、学生、子ども、さまざまな人々の参加により完成します。一つの作品を「協働」することで、地域に新たな「連帯」が生まれます。

さらに、単年度で終了せず継続することで、そのイベントが蓄積されて、観光効果として定着し、地域の存在が生成されて行くことになります。



# わらアートサミット2017 わら干支展2018 新潟県岩室温泉

【新潟県岩室温泉】 2017年12月～2018年3月

岩室温泉は、新潟市西蒲区にある「新潟の奥座敷」といわれる温泉地です。

わら干支展「2018 戌年岩室温泉新潟」

2006年11月、ここ岩室温泉で発祥したわらアートは、農村では身近な材料であるわら縄、箕、筵やトバなど生活の道具として使われてきた「稲わら」を用いた作品を制作し、毎年訪れる人々を楽しませてきました。

2018年は「戌年」、干支をテーマにわら干支展を開催。新年を迎える11体の「戌」が温泉街や旅館の玄関に展示されました。これから毎年、わらで作られた十二支の動物が年末年始の温泉地を彩ります。

第1回わらアートサミット「2017 岩室温泉新潟」

日本全国18カ所の地域で取り組まれてきたわらアート。10周年を記念して、「第1回わらアートサミット」を開催しました。各地で活動している制作者が一同に集い、活動報告や意見交換を交えて、都市と農村を繋ぐ地域づくりなど、地域振興に取り組んだ活動が報告されました。





わら干支展  
2018 成年  
岩室温泉  
新潟

2017年11月30日(木)～  
2018年3月31日(土)

わら干支展 2018  
新潟県岩室温泉

2018年成年 11体の犬

1. 【後ろ向きの犬】 めんめん亭わたや
2. 【ドーベルマン】 いわむろや
3. 【だいろを追う犬】 ゆもとや
4. 【アマビス】 富士屋
5. 【潟東小学校ワークショップ作品】 濱松屋
6. 【潟東小学校ワークショップ作品】 KOKAJIYA
7. 【がんちゃん】 いわむろや
8. 【お手】 はてる大橋館の湯
9. 【綱を引く犬】
10. 【潟東小学校ワークショップ作品】 松屋
11. 【犬の親子】 高島屋



サミット・干支展で企画販売された  
「はざかけ米」と干支飾りのわら戌

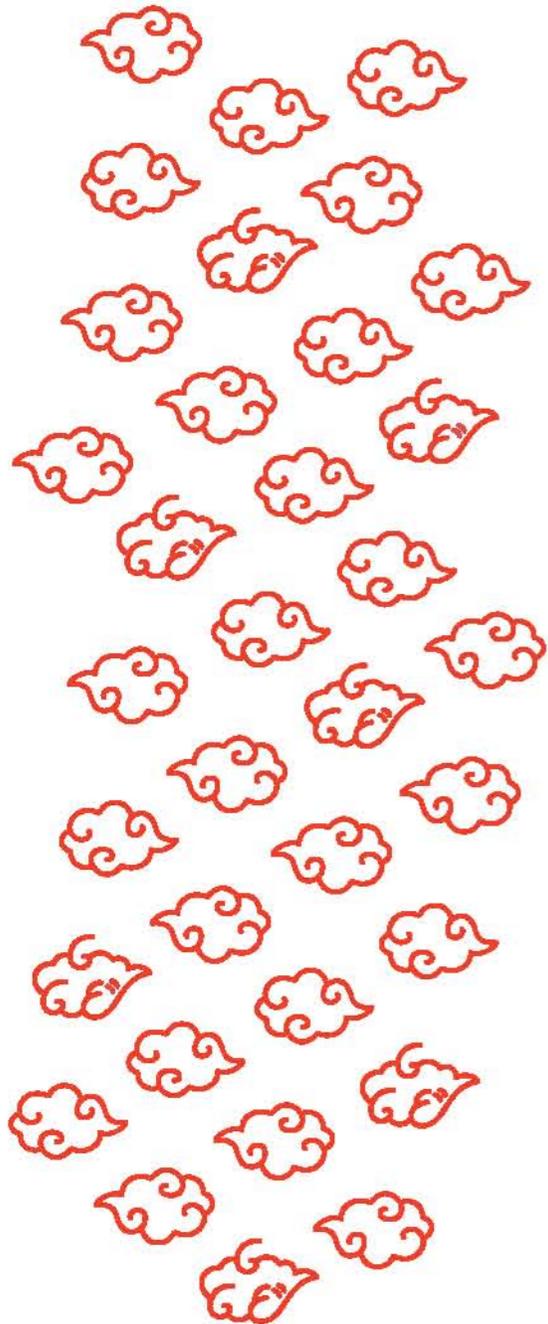


1	2	3	
4	5	6	7
8	9	10	11



【茨城県笠間市】 2017 月 9 月

笠間市は関東の北東部、茨城県中部に位置します。その宍戸地域に古くから伝わる神馬(しんめ)の親子を制作し、稲刈りの終わった田んぼに展示しました。毛並みや手綱など細部にこだわり、子馬の背に股がることができます。また、「宍戸わらアートまつり」を企画し、祭りのロゴマーク、「ししど雲」パターンや「わらトキドキししどキドキッ」スローガンをデザイン。告知のポスターや吹き出しサイン、紅白ののぼりが新しいお祭りを盛り上げました。地域の活性化事業として、地元住民「まちづくり宍戸塾」、笠間市、武蔵野美術大学とわらアート JAPAN が取組んだ産官学共同プロジェクトです。



**宍戸わらアートまつり 2017**  
 10/15 ⑧ ~ 10/28 ⑨ ▶ 土曜  
 ・10/29 ⑩ ▶ 日曜 9:00-17:00

■会場：笠間市常盤公園  
 ■受付時間：受付開始 10月15日(土)9:00~17:00  
 受付終了 29日(日)9:00~17:00  
 ※会場での飲食等はできません。  
 ※このアートは10月28日まで展示予定です。

■主催：JAPAN WARA ART FESTIVAL 実行委員会 協賛：笠間市 協賛：武蔵野美術大学



宍戸わらアートまつり 2017

SHISHIDO  
WARA ART  
FESTIVAL



第一回宍戸わらアートまつり  
茨城県笠間市

【岐阜県美濃加茂市】 2017年5月

美濃加茂市は岐阜県の南部に位置します。県営「ぎふ清流里山公園」は昭和の里山をイメージした都市公園。この中に環境保全を实践する場として「里山ふれあい牧場」があります。ここで飼育されている「ヤギさん除草隊」は、公園や企業の敷地、耕作放棄地などに繁茂している草を食べて、里山をまもり景観を保つ活動をしています。

ヤギを理解し親んでもらえるようなヤギの遊び場を作りました。牧場のランドマークにもなるわらアート「ヤギタワー」です。ヤギのいる里山の風景を大切に、ふれあいを通じて人びと、地域の連帯を深めます。



# 岐阜県美濃加茂市

ぎふ清流里山公園「里山ふれあい牧場」



【北海道河東郡音更町】 2016年8月

十勝平野のほぼ中央部に位置し、小麦生産量日本一の北海道河東郡音更町(おとふけちょう)で毎年開催される収穫感謝祭。大きく育った畑で、採れたての小麦を堪能する夏のお祭りが「麦感祭」です。収穫した麦わらを使った多彩なアトラクションが行われ、小麦のフードメニューが提供され、小麦を五感で楽しめます。

このお祭りのシンボルとして、麦わらを使って北海道に生息するエゾヒグマ「鮭をくわえる熊(おとべい)」を作りました。祭の終了後は、帯広市の日本一広いペーカリー満寿屋商店「麦音」に展示され、たくさんの見学者が訪れました。



北海道河東郡音更町

麦感祭 2016

【神奈川県海老名市】 2017年10月

神奈川県ほぼ中央に位置し豊かな田園風景に囲まれた海老名市。駅から少し足を伸ばして見えてくる水田は海老名耕地と呼ばれ、昔から米作りが盛んで穀倉地帯として、奈良時代には相模国分寺が建立され歴史の町として栄えてきました。伝統的な農業緑地と都市住宅が共存している市でもあります。

海老名駅再開発プロジェクトのシンボルとして、わらの「釈迦三尊像」を作りました。わらで縄を編み仏像につなげて完成させます。昔も今も仏像は、願いや希望や美しさの象徴に思えます。作品を通じてわらに触れることで、海老名の歴史と未来への期待やつながりを感じてほしいとの思いをこめました。

わら塾「海老名」

ミニわらアート制作のワークショップを開催しました。展示期間中の「釈迦三尊像」に結びつける藁縄を編む教室です。わらアート作りの現場を訪れ、どこか懐かしいわらのおいを嗅ぎながら見て触れてそのこだわりを五感で体験できます。



# 神奈川県海老名市

海老名駅再開発プロジェクト



# 埼玉県行田市

古代蓮の里「日本一巨大なわらアート」

【埼玉県行田市】 2014年12月・2017年12月

埼玉県北部に位置する行田市の古代蓮の里では、2014年から市職員やボランティア、地元建設業者や造園業者が参加して「日本一巨大なわらアート」を作っています。2016年は、田んぼアートの絵柄になった「ドラゴンクエスト」のキャラクターをモチーフにして「スライム」3体と「キングスライム」1体を作りました。「スライム」は、高さ2メートル、「キングスライム」は、高さ9.3メートル 幅8.8メートルと特大サイズです。

2017年は、「ヤマタノオロチ」をテーマに、スサノオノミコトの神話に登場する8つの頭を持つ生き物を作りました。大きさは全長18メートル、高さ6メートル。大蛇の口から入っておなかの内部を見学することができます。夜間はライトアップされ古代蓮の里の名物となりました。



【山口県山口市】 2018年9月～11月

山口県のほぼ中央部に位置する山口市きら博記念公園で第35回全国都市緑化やまぐちフェア「山口ゆめ花博」が開催されました。園内にある「山の外遊びゾーン」でキツネの親子4体を作りました。モチーフは地元湯田温泉のシンボルの白狐です。目の前に広がる瀬戸内海を見つめる親キツネは高さ4メートル、子キツネが2メートルほど。わらは山口市の県農業試験場で栽培された地元産を使用しました。青空の下で多くの子供たちが子キツネの背中に乗ったり、わら付けのワークショップに参加したり思い思いに楽しんでいました。



山口県山口市  
山口ゆめ花博



【群馬県みなかみ町】 2018年3月・11月

群馬県の最北端、新潟県湯沢町に接するみなかみ町。山と水と温泉、そして農業と観光の中山間地域です。昭和50年代までは養蚕を中心にした純農村でした。現在でも水田を中心に特徴ある構造の民家など農村風景が広がります。その農村地帯に食文化や伝統手工芸が体験できるたくみの家が点在しているのが「たくみの里」です。周辺を散策しながら匠の技に触れ伝統工芸体験ができます。

そのなかの宿泊施設「ファミリーオみなかみ」にわらアートのD51機関車、「たくみカフェ」にイヌワシを作り展示しました。



# 群馬県利根郡 みなかみ町

たくみの里



【タイ王国カラシン県】 2018年4月

タイ王国観光庁の依頼により、初の海外事業を展開しました。カラシン県はバンコクから北東に519キロ離れた位置にあります。米、キャッサバ、サトウキビの栽培が広くおこなわれ、タイ東北地方の中でも農業の盛んな豊かな県です。また、1996年に恐竜の足跡や化石が発掘され、発見された化石の骨の欠片は600片以上でタイ国内では最も多く、140万年前のものだと推測されています。現在、政府はこの遺跡に近い将来重要な観光地となるとして開発に力を入れています。

地元の人々、学生達と協働して、タイ米のわらを使って、恐竜「シアモザウルス」を作りました。地元知事も訪れ、カラシン県と日本の文化交流の発展が期待されています。

# タイ王国 カラシン県

観光で地域おこし



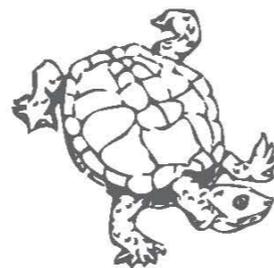
【オーストラリア・ヨーク】 2018年9月

西オーストラリア州パースから東へ100キロほどにある、同州内陸部で最も古い田舎町ヨークで毎年恒例となっているヨーク・フェスティバルに参加しました。このフェスティバルは地域活性化を目指して音楽、アート、文化、食をテーマにした老若男女が楽しめる祭典です。

この地域の麦わらを用いて、絶滅危惧種に登録されているビルビー、クビカシゲガメ、シロハラガエルを地域のボランティアとともに作りました。日本国内で流通するうどんやそうめんの原料となる小麦は、そのほとんどが西オーストラリア産であり、ヨークはそのなかでも有数の小麦生産地です。そして、今回の制作活動を通じて、西オーストラリア州と日本のより豊かな文化交流が今後も期待されています。



オーストラリア  
ヨークフェスティバル2018



虎ノ門ヒルズ「東京ハーベスト」2018  
東京都港区

【東京都港区】 2016年11月・2018年10月  
東京ハーベストは、東京の中心から農家・漁師・酪農家など食の作り手への感謝と尊敬の気持ちを伝えるイベントです。「ART」「SPORTS」「MUSIC」などのテーマと共に、豊かな日本の食を育む各地域の風土・文化・歴史を楽しみながら再発見し、東京から日本全国、そして世界へと「おいしい日本」を発信する食の祭典です。2016年は六本木ヒルズ、2018年は虎ノ門ヒルズの会場広場に「大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ」で作られた牛を展示しました。



六本木ヒルズ「東京ハーベスト」2016  
東京都港区





## 主な事業と実施地域

2016年

- 5月 宮城県岩沼市 「鎮守の森のプロジェクト」
- 8月 北海道河東郡音更町 「麦感祭」
- 10月 岐阜県美濃加茂市 日本昭和村里山ふれあい牧場 「里山アート」
- 10月 新潟県十日町市松代地区 「大地の芸術祭・秋」
- 11月 埼玉県行田市 古代蓮の里 「わらアートまつり 2016」
- 11月 東京都港区 六本木ヒルズ 「東京ハーベスト 2016」
- 12月 東京都千代田区 アーツ千代田 3331 「三三三市 年迎え市」

2017年

- 5月 新潟県新潟市 市立瀧東小学校わらアートワークショップ
- 9月 茨城県笠間市 「宍戸わらアートまつり」
- 10月 岐阜県美濃加茂市 日本昭和村里山ふれあい牧場 「ヤギタワー」
- 10月 神奈川県海老名市 海老名駅再開発プロジェクト (小田急電鉄)
- 11月 群馬県利根郡みなかみ町 「たくみの里 秋の花祭」
- 11月 新潟県新潟市岩室温泉 「わら干支展」
- 12月 新潟県新潟市岩室温泉 「第1回わらアートサミット」
- 12月 埼玉県行田市 古代蓮の里 「わらアートまつり 2017」

2018年

- 2月 群馬県利根郡みなかみ町 ファミリーオみなかみ (JR 東日本)
- 3月 群馬県高崎市 「JR 高崎駅西口連絡通路開通セレモニー」 (JR 東日本)
- 5月 タイ王国カラシン県 (タイ王国観光庁)
- 7月 新潟県十日町市川西地区 「大地の芸術祭 2018」
- 9月 山口県山口市 「山口ゆめ花博」
- 9月 オーストラリア ヨーク 「ヨークフェスティバル 2018」
- 10月 群馬県利根郡みなかみ町 ファミリーオみなかみ 「たくみの里わら遊び」
- 10月 東京都港区 虎ノ門ヒルズ 「東京ハーベスト 2018」
- 11月 岐阜県美濃加茂市 ぎふ清流里山公園 里山ふれあい牧場 「ヤギタワー」
- 11月 岐阜県美濃加茂市 「第2回わらアートサミット」



# わらアート JAPAN

NPO法人わらアートJAPAN

東京都千代田区麹町 3-5

麹町シルクビル 8F 〒102-0083

E-mail: [waraartinfo@waraartjapan.com](mailto:waraartinfo@waraartjapan.com)

[www.facebook.com/waraartjapan/](http://www.facebook.com/waraartjapan/)

[www.waraartjapan.com/](http://www.waraartjapan.com/)